



「蚊」というと8月頃の印象が強いですが、25℃～30℃で活動が活発になる蚊が多く、春や秋にも活動しています。9月になっても暑い日が多いので、対策を続けていきましょう。



子どもがよく刺されるのはどうして？

蚊は、① 温度の高いところに向かう ② 汗に反応する ③ 二酸化炭素を感知して近付く といった習性があります。体温が高く、汗をたくさんかく子ども達はどうしても蚊に刺されやすくなってしまいます。

どうして痒くなるの？

刺された時に蚊の唾液成分などが注入され、それらの物質に対するアレルギー反応が原因です。反応はすぐに現れることもありますが、乳幼児のうちはすぐに反応せず翌日に腫れてしまうこともあります。



※子どもは痒みを我慢することが難しく、掻きむしることでそこから菌が入り「とびひ」になることも少なくありません。「とびひ」になると軟膏だけで対応できないこともあるので、小児科や皮膚科を受診しましょう。また、肌を傷付けないように爪を切ることも大切です。

※痒みが強い場合は、保冷剤などで冷やすことで軽減することができます。

または、抗ヒスタミン薬やステロイド入りの痒み止め軟膏を塗ると良いでしょう。



予防として

室内に入らないよう網戸をしっかりと閉める、衣類でシャットアウトする、こまめに汗を拭いて着替えるなどがあります。虫よけの主な成分にディートやイカリジンがあります。使用方法を守って使用しましょう。

ディート

- 12%以下の製品は6ヶ月未満の乳児には使用不可
- 6ヶ月以上2歳未満→1日1回まで
- 2歳以上12歳未満→1日1～3回まで
- 30%の製品→12歳以下には使用不可
- 蚊成虫、ブヨ、アブ、マダニ、ノミ、イエダニ、サシバエ、トコジラミ、ツツガムシへの効果が期待

イカリジン

- 利用制限は設けられていない。
- 1回の使用で6～8時間効果が持続する
- ディートに比べて対象となる虫の種類が少ない
(蚊成虫、ブヨ、アブ、マダニに限定)

登録は随時受け付けております。

ご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

9月の花

「キャットウィスカー(属名:クミスクチン)」

おしべ
ピンとした雄蕊が猫のひげに似ていることから「猫のひげ」という和名が付いています。沖縄では薬草として知られ、

クミスクチン茶が健康茶として飲まれています。

花言葉：進歩・貢献・楽しい家庭



令和4年9月